

雲北陵月報

No. 482

令和7年10月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

全国の舞台で活躍

吹奏楽部 **全日本吹奏楽コンクール銅賞!**
合唱部 **NHK全国学校音楽コンクール優良賞!**

吹奏楽部

第73回全日本吹奏楽コンクール全国大会
於 時 10月19日
宇都宮市文化会館

本校としては3年連続17度目となる全国大会である。「全国大会金賞」を目標に掲げ、本年度のテーマである「邁進」を胸に、部員達は3年生を中心に、日々の地道な練習を積み重ね大会に臨んだ。本番当日は早朝から練習を行い、万全の準備を整え、生徒達はステージでは堂々とした態度で



日頃の練習通りの気持ちのこもった素晴らしい演奏を披露した。演奏後、観客からは大きな拍手をいただいたが結果は高等学校前半の部で銅賞であった。目標であった金賞には届かなかったが、生徒達の演奏は誇らしいものであり、生徒達の日々

の弛まぬ努力に拍手を送りたい。

全国の舞台で演奏できたのも、日々様々な面でサポートいただいた保護者の皆様、地域の方々を始め、多くの支えがあった結果である。この場をお借りして、御礼申しあげたい。

今後変わらず精進し、地域の方々に愛されるバンドを目指して努力していきたい。
(顧問 竹内康貴)

合唱部

第92回NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール
於 時 10月11日
NHKホール

第92回NHK全国学校音楽コンクールに4年ぶりに参加した。

迎えた本番、生徒達は歌い始めは緊張した面持ちであったが、次第に平常心を取り戻し、一人一人が自分の役割を果たし、思う存分自分達の表



吹奏楽部

第38回日本マーチングコンテスト中国大会
於 時 10月5日
広島サンプラザホール

現をすることができた。結果としては、上位入賞は果たせず、優良賞であった。コンクールの歌唱規定人数は40名以内であるが、本校は部員25名全員で大会に臨んだ。さすがに全国レベルでの数的な劣勢は否めない感があったが、全国レベルの演奏を生で聞くことができたよい機会であった。更に高みを目指して取り組みを進めていきたい。(顧問 布野浩志)

参加団体の中では少人数であったため、練習は苦難の連続であった。しかし、生徒達はそれを乗り越え、本番では立派な演奏・演技を披露し、会場を魅了した。結果、金賞を受賞し、11年連続13度目となる全国大会への出場権を得た。

これまで支えていただいた保護者の皆様、卒業生の皆様、応援していただいた地域の皆様への感謝を忘れず、11月に行われる全国大会では島根県、中国支部の代表として誇りを持って大会に臨めるよう、更に精進していきたい。皆様には引き続きご声援のほど宜しくお願い申し上げます。
(顧問 竹内康貴)



SHIGA国民スポーツ大会

卓球部

少年男子の部で活躍

於 時 9月28〜10月2日
野洲市総合体育館

〈予選リーグ〉

島根県 3-12 石川県
島根県 0-13 兵庫県
島根県 1-13 福岡県

〔出場選手〕大村 心(32西)

○大会総評

予選リーグで敗退したが、選手は最後まで諦めず粘り強く戦った。国スポはインターハイとは違い、個々の実力の差が出やすい試合方式のため、入賞するためには絶対的なエースを育成する必要がある。常時全国大会で入賞できるように、今後の練習で技術の幅を広げていきたい。
(顧問 古瀬泰之)

なぎなた部

成年女子(卒業生)が優勝!

於 時 9月29〜10月1日
パニンツクくららアライアンス社彦根工場

〔出場選手〕安田結衣(23越)・曾田小夏(24神)・吉田千秋(14神)

〈演技競技の部〉

2回戦 島根県 0-15 三重県

〈試合競技の部〉

1回戦 島根県 1-12 福岡県

○大会総評

演技は1回戦、試合は2回戦敗退となった。共に出場した成年(全員本校卒業生)は試合競技で13年ぶり3回目の優勝を果たした。生徒達にとって、その瞬間を会場で観ることができたことはいい経験となった。これを次に生かし、今後も稽古に励みたい。応援有難うございました。
(顧問 井上美代)



優勝した成年女子

卓球部

全日本卓球選手権大会島根県予選大会

時 10月18・19日
於 益田市民体育館

〈男子シングルス〉

ベスト8 大村 心

〈男子ダブルス〉

優勝 黒田昌秀(法政大・大村 心組)

2位 三好蒼空(23北)・金丸 陽(23北)組

3位 福田健人(25北)・波多間怜偉(13北)組

○大会総評

昨年に続き、ダブルスは全日本選手権への出場権を得ることができた。明確になった課題を日々の練習で克服し、今後の大会で活躍できるよう頑張りたい。

(顧問 古瀬泰之)

テニス部

U18チャレンジマッチ大会

時 10月5日
於 浜山公園

〈男子シングルス〉 3回戦敗退

〈女子シングルス〉 2回戦敗退

○大会総評

新人大会以降の練習から上位入賞を狙っていたが、上位進出は叶わなかった。しかし、この大会で自信をつけた生徒もおり、今後の練習に励み、テニスを進化させていきたい。

(顧問 石川剛旦)

野球部

島根県高校野球出雲地区予選シユートナメント

時 10月12日
於 大東公園野球場

出雲北陵・大東・出雲農林

3・13 三刀屋(6回コールド)

今大会は、本校の1年生5名と出雲農林高校の1年生5名、大東高校の1年生2名の計12名で合同チームを組んで出場した。合同チームでの練習の難しさを感じたこともあったが、多人数のチームでは経験できない学びが多かった大会となった。来年度はどのチームも単独で出場できるよう、お互いに切磋琢磨しあいたい。

(監督 畑 宗一郎)

サッカー部

第104回全国高校サッカー選手権大会島根県大会

時 10月18・24日
於 浜山公園陸上競技場

1回戦 本校 0-0 浜田商業・浜田工業

(前半0-0 後半0-0 延長前半0-0 延長後半0-0 PK3-2)

2回戦 本校 0-1 立正大湊南

(前半0-1 後半0-0 後半0-1)

○大会総評

3年生がいなくて迎えた今年の選手権は、公式戦初勝利という大きな喜びを味わう一方で、力の差を痛感する悔しさも経験する大会となった。強敵相手に思うようにプレーできない時間が多かったが、最後まで



気持ちを切り替えて相手に果敢に挑む選手達の姿を見ることができた。今大会で得た「喜び」「悔しさ」を忘れず、来年の選手権では更に勝ち上がれるよう、今から準備をしていきたい。応援に駆けつけていただいた保護者の皆様、有難うございました。

(顧問 今川恵人)

情報技術部

島根県高等学校商業教育実技競技大会(ワプロ競技)

時 10月17日
於 松江商業高校**中国大会出場!**

本校からは2年生4名、1年生1名が団体戦・個人戦に出場した。結果は団体3位、個人では水谷駿斗(24北)が2位、遠藤遼太郎(23北)と立石翼(24北)が佳良賞を受賞し、水谷・遠藤の2名は、11月14・15日に広島県で行われる中国大会に出場することになった。タイピングの練習は毎日の努力の積み重ねであり、また、早く正確な打力は社会でも役立つ力になる。次大会に向けて日々精進したい。

(顧問 加納寛敏)

美術部

ポスターコンクールにて多くの賞を受賞!

島根県緑化ポスター原画コンクール

特選 定守古都乃(26北)

優秀賞 井上陽菜(26北)、三浦優那(26北)

優良賞 塩野瑞季(26北)、春木かおり(26北)

※特選・優秀賞は全国出品



特選 定守の作品

犯罪のない安全で安心なまちづくり

啓発ポスターコンクール

山陰中央新報社長賞 春木かおり



山陰中央新報社長賞 春木の作品

(顧問 石倉 正)

写真部

2025年度第2回 TOEYE フォトコンテスト

見事入賞!

株式会社ニコンが主催する「TOEYE フォトコンテスト」において、原昊夢(34北)の「染まつていく」が銅賞を受賞、西尾晃大(34北)の「すれ違い」が入選した。このフォトコンテストには全国的に活躍している写真部の作品が集まるため入賞のハードルは高いが、何とか入賞することができた。今後も継続的に挑戦していきたい。

第26回植田正治写真美術館フォトコンテスト
開館30周年記念受賞!

植田正治写真美術館が主催するフォト

コンテストにおいて、松村菜生(33北)の「無心」が開館30周年記念賞(2名枠)を受賞した。また、馬庭葵琳(34北)の「本能」が入選した。2人の作品は植田正治写真美術館で展示される予定である。3年生が最後まで挑戦する姿を後輩達に見せてくれ、顧問として誇らしく思う。

高文連秋季写真コンクール

特選6点、入選12点受賞

本校からは12名が6点出品し、6点が特選に入賞した。島根県高校写真展審査会に向けて、春季・秋季特選作品のマトパネル貼りの準備を進めていきたい。特選作品は次の通り(作品番号順)。

「私」 エトウソガリエ(12北)

「泡に込めた想い」 安食有紗(13北)

「こぼれる秋」 持田一真(13北)

「晚餐」 水口笑奈(23北)

「光雨」 勝部紫帆(25北)

「見えない優しさ」 勝部紫帆

(顧問 村上 学)

ダンス同好会

雲州平田わがごとまつり

時 10月4日
於 平田行政センター

雲州平田わがごとまつり内のステージイベントに出演した。出雲地方では大雨が降っていたが、会場地は奇跡的に晴れ、生徒の活躍を祈念したような秋の空の下、練習の成果を発揮することができた。

特にフィナーレでは、他校との合同ダンス企画として、約100名でMrs. GREENAPPLEの「ダリーリン」を披露した。ダンスを通して交流を深めることができ、貴重な経験となった。

(顧問 水谷円香)



出雲北陵中学・高等学校芸術鑑賞会 並びに第35回定期演奏会



今年で35回目を迎えたこの演奏会は、独唱・独奏・吹奏楽・合唱と様々な演目があり、他校にはない本校ならではの演奏会である。

午前中は本校生徒対象の芸術鑑賞会と午後是一般の方々の定期演奏会と2公演を行った。出場者達は山陰で唯一の音楽コースの独唱・独奏をはじめ島根県を代表する音楽部に相応しい演奏を披露し、観客を魅了した。

当日ご来館いただいた皆様をはじめ、応援いただいている地域の方々、何より陰で支援をいただいている保護者の皆様に感謝申し上げます。

特別進学・音楽・美術CGデザインコース体験入学



時 10月8日
於 本校

本校の特色である特別進学、音楽、美術・CGデザイン、各コースの体験入学に、県内はもとより県外からも多くの中学生の皆さんに参加いただいた。開講式の後、本校生徒と化

公開授業(新任者研修)



10月16日(木)、新任教員による公開授業が行われた。この研修は新任教員の授業力向上、教科指導の研鑽する目的で毎年実施されている。新任教員は緊張感を持ちながらも生徒としっかりと向き合い、一人ひとりに語りかけながら熱のこもった授業を展開した。また、ICTを駆使し、グループワークを取り入れながら「課題設定力」を養う授業は、他の教員からも称賛を得た。その後、授業者・当該教科教員・参加教員で講習会を開き、意見交換を行った。

お知らせ

総合評価型入学試験説明会(本校)

申し込みが始まっています。

○11月23日(日) 9時半～11時半
○11月30日(日) 9時半～11時半
本校HPよりお申し込みください。

入学相談会「本校」事前申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

時 9時～12時
於 11月23日(日)
11月30日(日)

入学試験日程

○前期日程入学試験(総合評価型・特別選抜型)
12月15日(月)・16日(火) 実技試験(該当者のみ)
○中期日程入学試験(総合評価型・特別選抜型)
1月14日(水)・15日(木) 実技試験(該当者のみ)
○後期日程入学試験
2月3日(火)・4日(水)
※詳しくは本校HPをご覧ください。

中学校

卓球部

第4回島根オーブン小中学生卓球大会

時 10月4・5日
於 カミアリーナ

(団体) 2位 出雲北陵A
(シングルス) ベスト16 隈元慶真(中2)、今福瀧司(中1)

○大会総評
全国の様々な選手と対戦でき、良い刺激となった。団体戦では優勝した愛工大名電附属中に1対3で惜敗した。今後、課題を一つ一つ克服していきたい。(顧問 相場翔太)

バスケットボール部

第6回島根県U15バスケットボール選手権大会

時 10月18・19日
於 出雲だんだんととアリーナ

(男子) 1回戦 本校 51対60 TWO UP
○大会総評
3年生にとって最後の大会となったが、一生懸命戦うことができたと思う。ご声援有難うございました。(顧問 多々納厚比古)



(女子) 1回戦 本校 60-64 YAH☆HEY'S U15
○大会総評
チームの連携も徐々に増して互角の戦いを見せたものの、要所で流れを引き寄せることができず敗退となった。今後一層勝負にこだわって練習に励んでいきたい。応援有難うございました。(顧問 和田拓真)



国際交流ひろばワークショップ



時 10月15日
於 本校

今年度は、ブラジル・イギリス・中華民国・大韓民国の講師の方々をお迎えし、学年ごとに異国の文化に触れ交流を深めた。1年生は「教育とスポーツ」、2年生は「食と文化」をテーマに講話を聞き、3年生は調理実習でホットクを作った。いずれも非常に充実した時間を過ごすことができた。講師の先生方からも、本校の生徒と交流できて良かったとの喜びのコメントを頂き、素晴らしいワークショップとなった。

中学2年生 職場体験学習

時 10月22・23日
於 出雲市内14事業所

今年度の職場体験は出雲市内14事業所に於いて、生徒達が実践的な学びを体験することができ、とても充実した2日間となった。体験当日、生徒達は職場の方々に丁寧な指導を受けながら、真剣な眼差しで熱心に仕事に向き合っていた。どの事業所でも優しく親切に生徒達に接していただき、この場を借りて、深くお礼申しあげたい。有難うございました。

中学1年生 ぶらり学習

時 10月22日
於 松江市周辺

中学1年生39名が「ふるさと学習」の一環として、松江市周辺に調べ学習に出かけた。10班に分かれて松江城、小泉八雲記念館や武家屋敷などを散策し、有意義な一日を過ごした。松江城や小泉八雲記念館に初めて行く生徒も多く、歓声が上がっていた。生徒達にとって、故郷を知る良い機会になったと思う。



お知らせ

入学説明会・個別相談(本校)

○11月9日(日) 9時 個別相談は9～12時
○11月15日(土) 9時 個別相談は9～12時
○11月30日(日) 9時 個別相談は9～12時
○1月6日(火) 9時(個別相談は9～12時)
体験講座(本校)
○11月9日(日) 9～11時
華道・美術(華道は10時まで)
部活動体験(本校)
○11月9日(日) 9～12時

(野球部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、卓球部、なぎなた部、陸上競技部、テニス部、ダンス同好会) 体験講座は申し込みが必要です。部活動体験・入学説明会・個別相談は申し込み不要です。お気軽にお越しください。

作品と研究

真夏のような暑い日々が先月まで続きましたが、ようやくエアコンもお役御免になりそうな穏やかな天候に移っています。本来なら「紅葉の秋」「食欲の秋」「スポーツの秋」など、秋シーズンを象徴するものが話題になりますが、もう少し後の感じがします。しかし「読書の秋」は季節のズレの影響を受けにくく、今年も順調に到来しています。

高校2年1組の『国語演習』で、「読書の秋」にむけて、読書案内をプレゼンしてもらいました。

『ラーゲリより愛をこめて』

辺見じゅん

第二次世界大戦終結後、シベリアにある強制収容所で過酷な生活を強いられる日本人捕虜達が絶望の毎日を送るという内容です。主人公の遺書届けに來た3人の捕虜仲間が代読する場面が感動的です。戦争について考えさせられる一冊だと思います。

『大丈夫じゃないのに』

大丈夫なふりをした『クルベウ

皆さんは、大丈夫じゃないのに「大丈夫」と言ったことはないですか。この本は、自分を優先できず、思っ

ていることも伝えられないで、いつも「大丈夫」と言ってしまう人におすすめです。つらいと思うような時こそ読んで欲しい、心に響くエッセイ集です。

『余命10年』 小坂流加

あと10年しか生きられないとしたらどうしますか。この作品は、難病を患い余命宣告をされた主人公が、小学校の同窓会で再会した同級生と恋に落ち、残りの命を懸命に燃やし続けます。今を生きる尊さを描いた作品で、おすすめの1冊です。

『モモ』 ミヒヤエル・エンデ

「時間どろぼう」と呼ばれる男達に時間を盗まれ、人々が心の余裕を失っていく中、主人公の少女は失われた時間と人間らしさを取り戻すために立ち上がります。時間の本当の意味と、生きることの豊かさを描いたファンタジーです。

『透明なゆりかご』 沖田×華

産婦人科で働く看護学生（見習い助産師）が、命の誕生と喪失に向き合いながら成長していく姿を描いた医療漫画です。5年前にNHKでドラマ化されています。命の尊さや女性の葛藤が静かに胸を打ち、親のありがたみがわかる作品です。

『種まく子供たち』 佐藤律子

この本は、小児がんを体験した7人を取り上げたノンフィクション作品です。がんを克服して元気になった3人と死去した4人の、本人とその家族達から寄せられた体験（闘病記）が紹介されています。そのうちの1人の手記は、「24時間テレビ」の中でドラマ化されています。

『また同じ夢を見ていた』 住野よる

この本は、繊細な心情描写とミステリアスな展開が魅力的な青春小説です。「夢」を通じて、過去と向き合う主人公の成長が描かれていて、共感と感動が得られる作品です。自分や周囲の人間関係に悩む若者におすすめの1冊です。

『透明な夜の香り』 千早 茜

この本は、客が望む「香り」を作る調香師の主人公のもとへ様々な事情を抱えた依頼人が訪れ、香りのまつわる物語が展開していきます。「香りは永遠に記憶される」という言葉が心に残ります。「香り（嗅覚）」をめぐる長編小説ですので、かなり読みごたえがあります。おすすめの作品です。

『放課後カルテ』 日生マユ

この作品は漫画ですが、ドラマ化されて話題になりました。病院に勤務していた内科医が、学校に派遣さ

れて、子ども達の心と体の問題に向き合う作品です。病気だけではなく、家庭や心の問題も描かれ、子供達の抱える現実をリアルに映し出しています。医療と教育の両方に光を当てた感動作です。

いかがでしたでしょうか。9つの作品の中で、読書欲をそえられるような作品はありませんか。

今回プレゼンをしてくれたのは、保育系、看護医療系の生徒達なので、「いのち」に関する作品が多かったような気がします。次回はもう少し幅広く紹介できるようにしたいと思います。

「読書の秋」に関わらず、いつでもどこでも読書はできますので、秋の夜長に時間をかけてじっくり読むことをおすすめします。

2025年度第2回TopOpenNet「ベスト賞

今月1枚
「染まってく」

原 昊夢
(3・4
向陽)

